Dell™ SP2008WFP フラットパネルモニタ

注、注記および注意

注意： 注は、コンピュータをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。

注記： モニタが正常に作動しない場合、特に異常な音や臭いが発生する場合は、ただちに電源プラグを抜いて、デル テクニカルサポート に連絡してください。

注意： 注意は、材質破損、身体の怪我、または死につながる可能性を示します。

Model SP2008WFP

2007年6月

Rev. A00

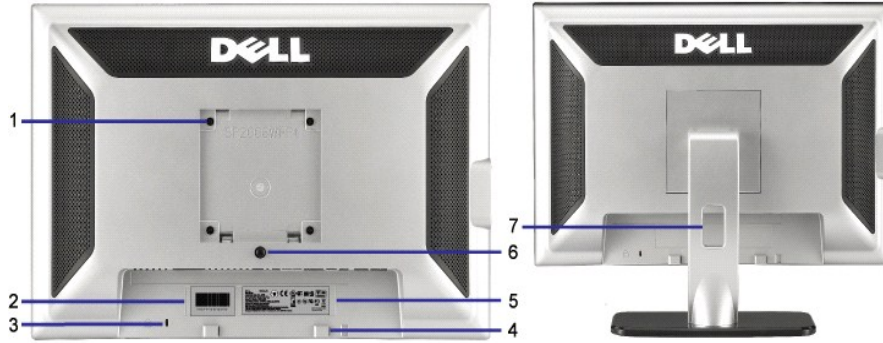
目次ページに戻る

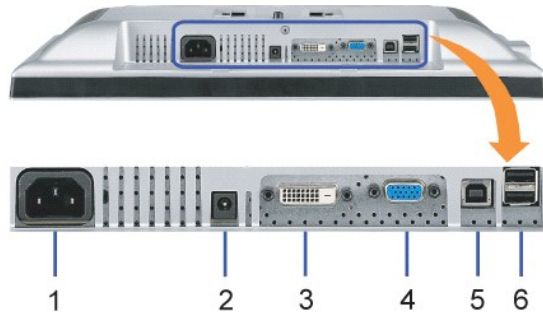
モニターについて

Dell™ SP2008WFP フラットパネルモニタ

正面図

1.	ビデオ入力選択
2.	OSDメニュー/選択ボタン
3.	明るさとコントラスト / ダウン (-) ボタン
4.	自動調整 / アップ (+) ボタン
5.	電源ボタン（電源ライトインジケータ付き）
6.	Webcam
7.	マイク

後方図

1	VESA取付ホール(100mm)(取り付けたベースプレートの背面)	これを使って、モニターを取り付けます。
2	バーコード・シリアル番号ラベル	Dellのテクニカルサービスに問い合わせが必要な場合は、このラベルを参照してください。
3	セキュリティ・ロック・スロット	スロットのあるセキュリティ・ロックを使用して、モニターを固定します。
4	Dellサウンドバー取付ブラケット	オプションのDellサウンドバーを取り付けます。
5	規制定格ラベル	規制承認を表示します。
6	スタンド取外しボタン	押して、スタンドを取り外します。
7	ケーブル管理ホール	穴に通して、ケーブルを束ねやすくします。

底面図

1	電源コネクタ	電源ケーブルを挿入します。
2	Dellサウンドバー電源コネクタ	サウンドバー用電源コード(オプション)を接続します。
3	DVIコネクタ	コンピュータをDVIケーブルに接続します。
4	VGAコネクタ	コンピュータをVGAケーブルに接続します。
5	USBアップストリーム・コネクタ	モニターに接続されたUSBケーブルをモニターとコンピュータに接続します。このケーブルを接続すると、モニターの側面および底面にあるUSBコネクタを使用することができます。
6	USBコネクタ	USBデバイスを接続する。

注意： このコネクタは、コンピュータおよびモニター上のUSBアップストリーム・コネクタ上にUSBケーブルを接続した後でのみ使用できます。

側面図

左側面　　**右側面**

モニター仕様

電源管理モード

VESAのDPM™互換ディスプレイカードまたはソフトウェアがPCにインストールされている場合、モニタは不使用時電力消費を自動的に低減します。これは電力節約モードと呼ばれます。コンピュータがキーボードやマウスといった入力デバイスから入力を検出sるうと、モニタは自動的に機能を回復します。この自動電力節約機能の電力消費と信号規格は以下の表の通りです:

VESAモード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転（DellサウンドバーおよびUSBが有効になっている場合）	有効	有効	有効	青	75W（最大）
通常運転	有効	有効	有効	青	38W（一般）
無効モード	無効	無効	空白	黄色	2W以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	1W以下

注意： OSDは、「通常運転」モードでのみ機能します。. 無効モードで[メニュー]または[プラス]ボタンを押した場合に、次のメッセージのうち1つが表示されます。

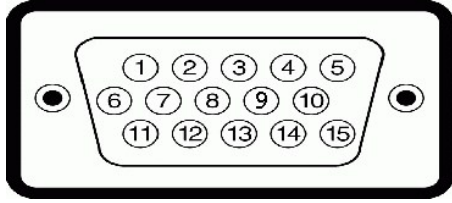
1. 自動検出 (アナログ入力) 省電力モードになっています コンピュータの電源 ボタンまたはキーボードのキーを押すか マウスを動かしてください	または	1. 自動検出 (デジタル入力) 省電力モードになっています コンピュータの電源 ボタンまたはキーボードのキーを押すか マウスを動かしてください
2. アナログ入力 省電力モードになっています >コンピュータの電源 ボタンまたはキーボードのキーを押すか マウスを動かしてください	または	3. デジタル入力 省電力モードになっています コンピュータの電源 ボタンまたはキーボードのキーを押すか マウスを動かしてください

コンピュータとモニタをアクティベートしてOSDにアクセスします。

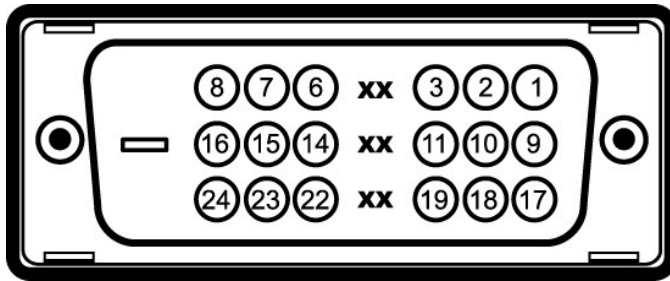
本モニターは、**ENERGY STAR**®-準拠で、TCO '99 電源と互換性があります。

* オフモードでのゼロ電源消費は、モニターからのメインケーブルを外してはじめて、有効になります。

ピン割当

15-pin D-Sub コネクタ

下表は、D-Subコネクタのピン割当を表します:

ピン数	15-Pin側面信号ケーブルのモニター側面
1	ビデオ-赤
2	ビデオ-緑
3	ビデオ-青
4	GND
5	自己テスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	DDC +5V
10	GND
11	GND
12	DDCデータ
13	H-同期
14	V-同期
15	DDCクロック

24PinデジタルのみDVIコネクタ

注意: Pin1は、上部右にあります。

下表は、DVIコネクタのピン割当を表します:

ピン	信号割当	ピン	信号割当	ピン	信号割当
1	T.M.D.S. データ2-	9	T.M.D.S. データ1-	17	T.M.D.S. データ0-
2	T.M.D.S. データ2+	10	T.M.D.S. データ1+	18	T.M.D.S. データ0+
3	T.M.D.S. データ2シールド	11	T.M.D.S. データ1シールド	19	T.M.D.S. データ0シールド
4	接続なし	12	接続なし	20	接続なし
5	接続なし	13	接続なし	21	接続なし
6	DDCクロック	14	+5V電源	22	T.M.D.S. クロックシールド
7	DDCデータ	15	自己テスト	23	T.M.D.S. クロック+
8	接続なし	16	ホットプラグ検出	24	T.M.D.S. クロック-

ユニバーサル·シリアルバス(USB)インターフェース

このモニターは、高速認定USB2.0インターフェースをサポートしています。

	データ率	電源消費
高速	480Mbps	2.5W(最大、各ポート)
全速度	12Mbps	2.5W(最大、各ポート)
低速度	1.5Mbps	2.5W(最大、各ポート)

USBポート:

- 1アップストリーム-後方
- 4ダウンストリーム-後方に2つ、左側面に2つ

 注意： USB2.0機能には、2.0対応コンピュータが必要です。

注意： モニターのUSBインターフェースは、モニターの電源がオンになっている場合（あるいは電源セーブモードで）のみ作動します。モニターをオフして、もう一度オンにすることで、USBインターフェースを再度数え、付属の周辺機器が数秒後、通常機能に回復させます。

プラグ･アンド･プレイ機能

プラグ･アンド･プレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ･データ･チャンネル（DDC）プロトコルを使って、コンピュータシステムに拡張ディスプレイ特定データ(EDID)を自動的に提供するため、システムが、自己設定により、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニタの据付は自動です。必要な場合は、違う設定を選択できます。

全般

モデル番号	SP2008WFP

フラットパネル

スクリーン･タイプ	有効マトリックス - TFT LCD
画面寸法	20.1インチ（20.1インチ表示可能画像サイズ）
事前設定ディスプレイ領域：	
水平	433.44 mm (43.33 cm)
垂直	270.9 mm (27.10 cm)
ピクセル･ピッチ	0.258 mm
表示角度	160°(垂直) タイプ、160°(水平) タイプ
ルミナンス出力	300 CD/m ²(タイプ)
ダイナミックコントラスト比	2000 ～ 1 (タイプ)
面板コーティング	ARCグレア（2H）
バックライト	CCFL (4) エッジライト･システム
応答時間	2 ms一般

Webcam - マイク仕様

レンズ	視野のフィールド	66.5 度 +/- 5 %
	フォーカスモード	固定フォーカス
	フォーカス領域	49cm～無限
	焦点距離 (通常モード)	1,100 mm
イメージセンサー	アクティブなアレイサイズ	2.0 メガピクセル
ビデオ仕様	ビデオフレームレート	1600 x 1200 (UXGA) - 最大 10 フレーム/秒
		640 x 480 (VGA) 以下 - 最大 30 フレーム/秒
	イメージフリップ	水平
	デジタルズーム	2x
オーディオ仕様	マイクタイプ	デュアルマイク
インターフェイス		USB 2.0 高速
電源装置		5.0 ボルト+- 5%

Webcam - マイクシステム要件

次は Webcam - MIC 機能の最小のシステム要件です:1.8 GHz 以上で実行する

Intel® Pentium®4 または AMD® 同等のプロセッサ (推奨: ハイパースレッディングを有効にした Intel Pentium 4, 2.8 GHz)

Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 または Windows Vista

256 MB RAM (512 MB RAM 以上を推奨)

580 MB のハードディスクスペース

電源装置を外付けした空き USB 1.1 ポートまたは USB 1.1 ハブ (最大のフレームレートと解像度を出すには、USB 2.0 が必要です)

CD-ROM/DVD-ROM (ソフトウェアのインストール用)

モニタ解像度

水平走査幅	30KHz～83HKz(自動)
垂直走査幅	56Hz～76Hz(自動)
事前設定の最適解像度	60Hzで1680 x 1050
事前設定の最高解像度	60Hzで1680 x 1050

ビデオサポートモード

ビデオ表示機能(DVI HD 再生)	480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080p (HDCP のサポート)

事前設定ディスプレイ･モード

様々なモードを短時間に設定できるよう、モニタには以下の表のようなデフォルト設定モードが備えられています:

ディスプレイ･モード	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	ピクセル･クロック (MHz)	同期極(水平/垂直)
VESA、720 x 400	31.5	70.0	28.3	-/+
VESA、640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA、640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA、800 x 600	37.9	60.0	40.0	+/+
VESA、800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA、1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA、1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA、1152 x 864	67.5	75.0	108	+/+
VESA、1280 x 1024	64.0	60.0	108	+/+
VESA、1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA 1680 x 1050	65.3	60	146.3	-/+
VESA、1680 x 1050	64.7	59.9	119	+/-

電気系統

ビデオ入力信号	アナログRGB、0.7ボルト +/-5%、正電極が75オーム入力インピダンス デジタル DVI-D TMDS、50オーム入力インピダンスで各微分線、正電極に対して600mV
同期入力信号	個別水平および垂直同期、電極フリーTTLレベル、SOG(複合同期オン･グリーン)
AC入力電圧/周波数/電流	100 ～ 240 VAC / 50 または 60 Hz ± 3 Hz / 1.5 A 1.5A
インラッシュ電流	120V:30A (最大) 240V:60A (最大)

物理 特性

モニタの物理特性は以下の表の通りです:

コネクタ･タイプ	15-pin D-subミニ、青コネクタ、DVI-D、白コネクタ

信号ケーブル･タイプ	デジタル: デジタル:取り外し可能、DVI-D 、固定ピン、モニタから取りはずして出荷 アナログ: 取外可能、D-Sub、15pins、出荷時はモニターに取付
寸法(スタンド付き):	
高さ	39.09 cm (390.98 mm)
幅	18.62 inches (473.05 mm)
奥行き	14.73 cm (147.36 mm)
寸法:(スタンドなし)	
高さ	31.90 cm (319.2 mm)
幅	18.62 inches (473.05 mm)
奥行き	6.58 cm (65.9 mm)
スタンド寸法:	
高さ	29.69 cm (297.03 mm)
幅	26.47 cm (264.84 mm)
奥行き	14.73 cm (147.36 mm)
重さ(パッケージ含む)	17.73 lbs (8.05 kg)
重さ(スタンド･アセンブリとケーブル含む)	7.03 kgs (8.05 kg)
重さ(スタンド･アセンブリなし) (壁取付またはVESA取付用 - ケーブルなし)	5.20 kgs (8.05 kg)
スタンド･アセンブリの重さ	1.31 kgs (8.05 kg)

環境

以下の動作条件を参照してモニタを正しく使用してください。

温度:	
運転時	5°～ 35°C (41°～ 95°F)
運転停止時	ストーレッジ: 出荷時 -20° to 60°C (-4° to 140°F) -20°～ 60°C (-4°～ 60.00°C)
湿度:	
運転時	10%～80%(結露しないこと)
運転停止時	ストーレッジ: 5%～90%(結露しないこと) 出荷時: 10%～80%(結露しないこと)
高度:	
運転時	3,657.6m (12,000 ft) 最大
運転停止時	12,192 m (1,219,200.00 cm) 最大
熱発散	256.08 BTU/時 (最大) 129.75 BTU/時 (一般)

モニターを清掃する

 警告: モニターの清掃前には、安全指示書を読み、従ってください。

警告: モニターの清掃前には、電源コンセントからモニター電源ケーブルを外してください。

- 静電気防止スクリーンを清掃するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。できれば、特殊スクリーン清掃ティッシュまたは静電気防止コーティングに適して溶液を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
- 軽く湿らせた、暖かい布を使って、プラスチックを清掃します。洗剤には、プラスチック上に乳膜を残すものがありますので、使用は避けてください。
- モニターを外したときに白い粉末がある場合は、布で拭きとってください。この白い粉末は、モニターの出荷時に発生します。
- 暗色系モニタは明色系モニタよりも傷がつきやすく、傷が白く目立ちやすいので、注意深く取り扱ってください。

- モニタの最高の画像品質を保てるように、ダイナミックに変化するスクリーンセーバーを使用し使用しないときはモニタの電源をオフにしてください.

目次ページに戻る

[目次ページに戻る]

付録

Dell™ SP2008WFP フラットパネルモニタ

- 安全指示
- 米国連邦通信委員会(FCC)通告(米国内のみ)およびその他規制に関する情報
- Dellへのお問い合わせ

注意: 安全指示

 警告: このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電気的障害、または機械的障害を招く結果となります。

安全に関する注意事項については、*製品情報ガイドを参照してください*。

米国連邦通信委員会(FCC)通告(米国内のみ)およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会(FCC)通告(米国内のみ)およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページwww.dell.com/regulatory_complianceをご覧ください。

Dellへのお問い合わせ

米国のお客様の場合、800-WWW-DELL (800-999-3355)にお電話ください。

注: インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、またはDell製品カタログで連絡先情報を調べることができます。

Dellでは、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけないサービスもあります。Dellの販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには:

1. **support.dell.com** にアクセスします。
2. ページ下部の **Choose A Country/Region [国/地域の選択]**ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。.
3. ページ左側の **Contact Us [連絡先]**をクリックします。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートリンクを選択します。
5. ご自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

モニター設定ガイド

PDFファイルを表示する(.pdf 拡張付きファイル)には、ドキュメント・タイトルをクリックします。 PDFファイル(.pdf拡張付きファイル)をハードドライブに保存するには、ドキュメント・タイトルを右クリックして、MicrosoftR Internet Explorer で名前を付けて保存をクリックするか、またはNetscape Navigatorで名前を付けてリンクを保存し、次にファイルを保存する先のハードドライブの場所を指定します。

モニター設定ガイド **(.pdf) (21MB)**

注: PDFファイルには、Adobe® Acrobat® Reader®が必要です。Adobeウェブサイトからダウンロードできます。
TPDFファイルを表示するには、Acrobat Readerを起動します。次に、**ファイル→ 開く** をクリックし ⊗、PDFファイルを選択します。

[目次ページに戻る]

目次に戻る

モニタのセットアップ

Dell™ SP2008WFP フラットパネルモニタ

インターネットにアクセスして Dell™ デスクトップコンピュータまたは Dell™ ノート PC を使用している場合

1. **http://support.dell.com,** に移動し、サービスタグを入力したら、グラフィックスカードの最新ドライバをダウンロードしてください

2. グラフィックスアダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び **1680x1050**に設定します。

注: 解像度 1680x1050 に設定できない場合、™ に連絡してこれらの解像度をサポートするグラフィックスアダプタを調べてください。

目次に戻る

目次に戻る

モニタのセットアップ

Dell™ SP2008WFP フラットパネルモニタ

非 Dell™ デスクトップコンピュータ、ノート PC、またはグラフィックカードを使用している場合

1. デスクトップを右クリックし、**プロパティ**をクリックします。

2. **設定**タブを選択します。

3. **詳細設定**を選択します。

4. ウィンドウ上部の説明から、グラフィックスコントローラサプライヤを確認します (NVIDIA、ATI、Intel など)。

5. 更新されたドライバについては、グラフィックカードプロバイダの web サイトを参照してください (たとえば、http://www.ATI.com 或は http://www.NVIDIA.com).

6. グラフィックスアダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び **1680x1050**に設定します。

注: 解像度を1680x1050に設定できない場合、コンピュータの製造元にお問い合せになるか、1680x1050 のビデオ解像度をサポートするグラフィックスアダプタの購入をご考慮ください。

目次に戻る

モニタのセットアップ

Dell™ SP2008WFP フラットパネルモニタ

ディスプレイ解像度を1680 x 1050(最適)に設定する｢安全上の注意｣

Microsoft WindowsR オペレーティングシステムを使用している間最適のディスプレイパフォーマンスを達成するには、次のステップを実行してディスプレイ解像度を 1680 x 1050 画素を設定します:

1. デスクトップを右クリックし、**プロパティ**をクリックします。

2. **設定**タブを選択します。

3. マウスの左ボタンを押し下げることによってスライドバーを右に移動し、スクリーン解像度を **1680X1050**に調整します。

4. **OK**をクリックします。

オプションとして **1680X1050** が表示されない場合、グラフィックスドライバを更新する必要があります。ご使用中のコンピュータシステムをもっともよく説明するシナリオを以下から選択し、示される指示に従ってください:

1: インターネットにアクセスして Dell™ デスクトップコンピュータまたは Dell™ ノート PC を使用している場合。

2: 非 Dell™ デスクトップコンピュータ、ノート PC、またはグラフィックカードを使用している場合。

Dell™ SP2008WFP フラットパネルモニタ

- ユーザーガイド
- ディスプレイ解像度を1680 x 1050(最適)に設定する「安全上の注意」

Model SP2008WFP

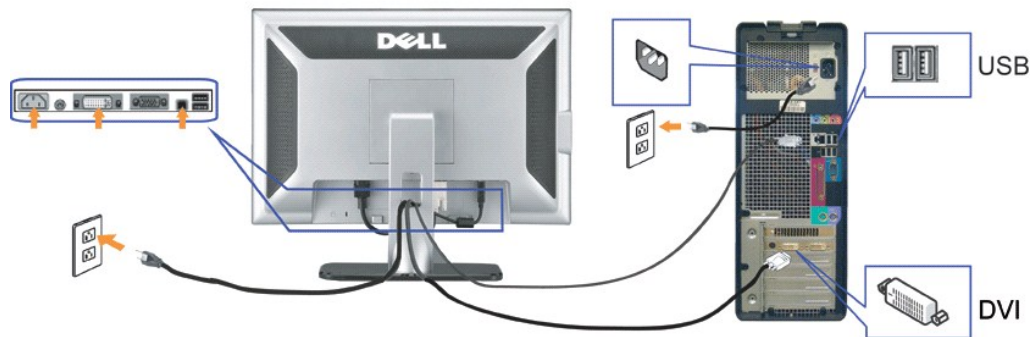
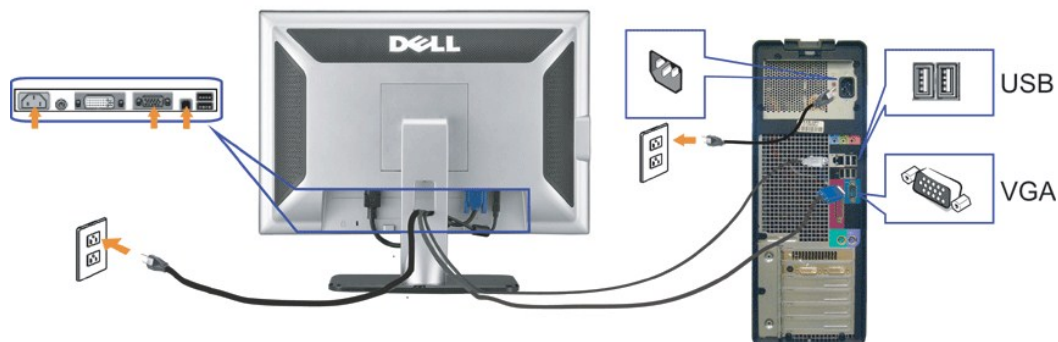
Rev. A00 2007年6月

目次ページに戻る

モニターを設定する

Dell™ SP2008WFP フラットパネルモニタ

モニターを接続する

警告: このセクションで手続きをはじめる前に、安全指示書にしたがってください。

または

1. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。
2. 白DVIまたは青VGAケーブルをコンピュータおよびモニターのコネクタに接続します。
3. モニターに付属しているUSBケーブルをコンピュータおよびモニター上のアップストリームUSBコネクタに接続します。このケーブルをコンピュータおよびモニターに接続すれば、モニター上のUSBコ 使用できます。
4. USBデバイスを接続する。
5. 電源ケーブルを接続する。
6. モニターおよびコンピュータの電源をオンにします。画像が見えない場合は、入力選択ボタンを押し、入力ソースが正しく選択されていることを確認します。それでも画像が映らない場合は、モニター ルシューティングを参照してください。

Webcam アプリケーションのインストール (Microsoft® Windows® オペレーティングシステム)

CD に付属する**setup.exe**アプリケーションツールランチャにより、コンピュータに Webcam アプリケーションをインストールできます。

1. Webcam リソースメディアをCDドライブに挿入します。

注: USB ケーブルがモニタとコンピュータに接続されていることを確認します。

2. **インストールシールドウィザード**がセットアップアプリケーションを自動的に起動します。必要な言語を選択し、**次へ**をクリックして、続けます。
3. **ソフトウェアライセンス契約書**をお読みになり、**はい** をクリックして続行します。
4. **検索する**をクリックして、ソフトウェアをインストールする宛先フォルダを変更し、**次へ**をクリックして、続けます。
5. **完全インストール**を選択し、**次へ** をクリックして指示に従い、インストールを完了します。インストールが完了したら、**終了** をクリックしてコンピュータを再起動します。または、**カスタムインストー**
択してインストールをカスタマイズします

これで、Webcam を使用する準備ができました。Webcam アプリケーションでは、次の機能を用意しています。

- **Dell Webcam Center:** Dell Webcam Center では、Dell Webcam で写真やビデオを容易にキャプチャできます。Webcam Center があれば、写真やビデオをキャプチャしたり、リモートモニタリング、モーション検出および低速度ビデオキャプチャのような高度なタスクを実行できます。
- **Dell Webcam Manager:** Dell Webcam Manager 関連のすべてのアプリケーション用の中央アクセスポイントです。Webcam を使用しながら、お気に入りの Webcam アプリケーションを Webcam Manager から素早く容易に検索して起動することができます。
- **Dell Webcam Console:** Dell Webcam Console では拡張ビデオとオーディオ効果、フェーストラッキングおよびペアレンタルコントロールなどのカスタマイズされたセットの魅力的な機能を用意して、ビデオチャット体験を向上しています。
- **Live! Cam Avatar:** Live! Cam Avatar により、インスタントメッセージングソフトウェアを使用してビデオチャットを行いながら、スーパースター、毛むくじゃらの友人、またはカスタマイズされたアニメのキャラクターに変装することができます。アバターはあなたの頭の動きを追跡して、口を開くと直ちに音声と唇の動きの同期を同時に取ります。
- **Live! Cam Avatar Creator:** Live! Cam Avatar では、選択したデジタル写真から独自にカスタマイズしたアバターを作成し、組み込まれた高度なスピーチテクノロジでアニメ化されたアバターの唇の動きと音声を合わせています。

正面パネルボタンを使う

モニタ前面のボタンを使用して画像設定を調整します。

フロントパネルのボタンの機能は以下の表の通りです:

<table>
<tr>
<td>
ビデオ入力選択</td>
<td>入力選択ボタンを使って、モニターに接続する2つの異なるビデオ信号の間のいずれかを選択します。

VGA と DVI ケーブルを1台のPCに接続してある場合、ビデオ信号がVGAまたは DVI 出力のいずれかにあるかぎり、このモニタは、自動的に画像を表示します。1つのディスプレイを2台のPCに接続する場合、スクリーンセーバーを使っている場合は、両方の時間を正確に合わせてください。マウスをはじめに動かしたほうが、ビデオ入力をはじめに起動します。

 注意: モニタがビデオ信号を感知できない場合、黒い背景に、フローティング[Dell自己診断機能チェック] ダイアログが表示されます。入力選択ボタンを使って、アナログ入力またはデジタル入力いずれか、試験する対象となる入力を選択します。ディスプレイ操作が正しい場合、ビデオカードからビデオケーブルを外すと、[Dell自己診断機能チェック]ダイアログが表示されます。

または

</td>
</tr>
</table>

	DELL™ 2:アナログ入力 自己テスト機能 赤 緑 青 白 または DELL™ 3:デジタル入力 自己テスト機能 赤 緑 青 白
OSDメニュー/選択	メニューボタンを使って、画面上表示(OSD)を開いて終了し、メニューおよびサブメニューを終了します。OSDメニューを使う。
ダウン (-) およびアップ (+)	これらのボタンを使って、OSDメニューの項目(幅の減少/増加)を調整します。
明るさメニュー	このボタンを使って、明るさメニューを表示します。
Auto Adjust	このボタンを使って、自動設定および調整を有効にします。モニターが電流入力を自己調整するときに、黒スクリーン上に次のダイアログボックスが表示されます。 Auto Adjust In Progress 自動調整ボタンを使って、モニターが入力ビデオ信号に対して自己調整できます。自動調整を使った後、OSDのピクセル·クロック(粗い)、フェーズ(微調整)コントロールを使って、モニターをさらに調整できます。 **注意**:自動調整は、有効ビデオ入力信号または付属ケーブルがない状態でボタンを押した場合には、発生しません。
電源ボタンとインジケータ	電源ボタンを使って、モニターをオンおよびオフにします。 青いライトは、モニタの電源がオンで、完全に機能していることを示しています。黄色のライトは、省電力モードに入っていることを示しています。

OSDメニューを使う

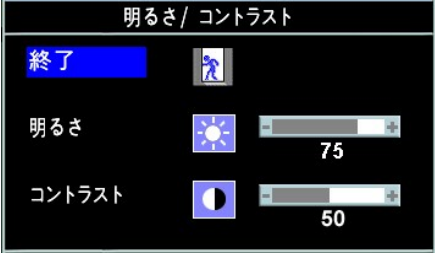
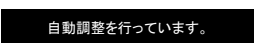
注: 設定を変更し、別のメニューに進むか、またはOSDメニューを終了する場合、モニターは、その変更を自動的に保存します。変更は、設定を変更し、OSDメニューが消えるのを待つ場合も保存されます。

1. メニューボタンを押して、OSDメニューを開き、メインメニューを表示します。

自動検出アナログ (VGA) 入力用メインメニュー **自動検出デジタル (DVI)入力用メインメニュー**

アナログ（VGA）入力用メインメニュー

または

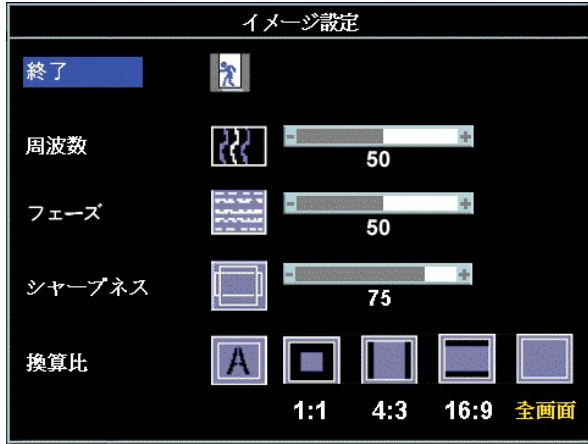
デジタル（DVI）入力用メインメニュー

または

注意： 自動調整、位置設定および画像設定は、アナログ (VGA)コネクタ使用時のみ有効です。

2. **-** および **+**ボタンを押して、設定オプションを移動します。アイコンからアイコンに移動するときに、オプション名をハイライトします。モニター用に利用できるオプションすべての完全リストは、下表を参照してください。
3. メニューボタンを一回押して、ハイライトされたオプションを有効にします。
4. - および + ボタンを押して、必要なパラメータを選択します。
5. メニューを押して、スライドバーを入力し、次に、メニュー上のインジケータにしたがって、**-** および **+**ボタンを使って、変更します。
6. メニューボタンを一回押して、メインメニューに戻り、別のオプションを選択するか、またはメニューボタンを2回または3回押して、OSDメニューを終了します。

アイコン	メニューおよびサブメニュー	説明
	終了	メインメニューを選択して、終了します。

	明るさ/コントラスト	明るさで、バックライトのルミナンスを調整します。 最初に **明るさ**を調整し、さらに調整が必要な場合のみ、次に **コントラスト**を調整します。 **+**ボタンを押して、ルミナンスを上げるか、**-**ボタンを押して、ルミナンスを下げます（最小0～最大100）。 コントラストで、モニタースクリーンの暗さと明るさの程度を調整します。 **+**ボタンを押して、コントラストを上げるか、**-**ボタンを押して、コントラストを下げます（最小0～最大100）。
	自動調整	コンピュータで、起動時にモニターを認識している場合でも、自動調整機能で、特定設定に使う表示設定を最適化できます。 選択すると、自動設定および調整が有効になります。 モニターが電流入力を自己調整するときに、黒スクリーン上に次のダイアログボックスが表示されます。 自動調整を行っています。 自動調整を使って、モニターが入力ビデオ信号に対して自己調整できます。 自動調整を使った後、画像設定の下でピクセル･クロック（粗い）、フェーズ（微調整）コントロて、モニターをさらに調整できます。 **注意 :** ほとんどの場合、自動調整で、設定に最適な画像が生成されます。
	位置設定 :水平 垂直	位置決めで、モニター･スクリーンの表示領域を移動させます。 水平または垂直設定を変更する場合、表示領域のサイズを変更することはできません。 選択にあわせて、画像がシフトします。 ズーム設定を変更しているとき、イメージのサイズを増大または減少することができます。イメージの倍率は、選択に応じて変化します。 最小値は0 (-) 、および最大値は100 (+)です。 **注** ： DVI ソースを使用しているとき、水平および垂直設定は使用できません。
  	イメージ設定 : **周 波数**(粗い) **フェーズ**(細かい)	位相、ピクセルクロックおよびシャープネス調整により、モニタをお好みに合うように調整することができます。メインの OSD メニューのイメージ設定を選択して、これらの設定にアクセスします。 **注:** ピクセルクロックは、1 度の水平掃引によりスキャンされるピクセル数を調整します。周波数が正しく内場合、スクリーンには縦縞が表示され、イメージの縦横比が正しくなりません。 および **+**ボタンを使って、調整します。（最小: 0～最大: 100） フェーズ調整を使った結果がよくない場合、ピクセル･クロック（粗い）を使い、次にフェーズ（細かい）をもう一度使います。 **注意 :** この機能で、表示画像幅を変更できます。位置メニューの水平機能を使って、スクリーン上の表示画像をセンタリングします。

シャープネスのスケーリング比

シャープネス調整により、テキストのシャープネスを強化できます。全部で、5 つのレベルの調整を行えます。(0, 25, 50, 75, 100)

スケーリング比調整により、イメージの倍率をさまざまなデフォルト設定で変更することができます。

注:DVI ソースを使用しているとき、ピクセルクロック、位相およびシャープネス設定は使用できません。

注:ビデオ信号の解像度が1680x1050以上の場合、スケールは変更できません。ただし、16:9と全画面はビデオタイミングで使用できます。

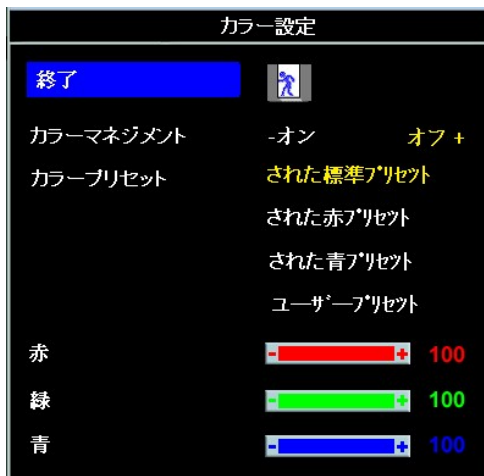
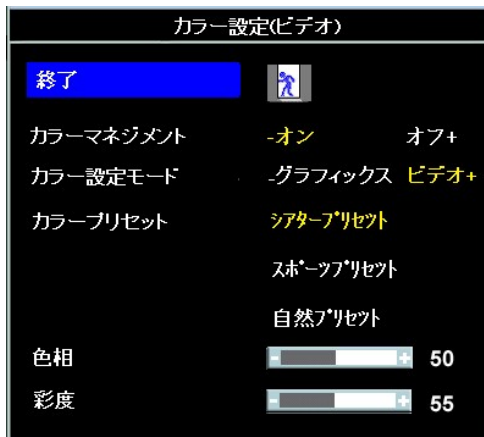
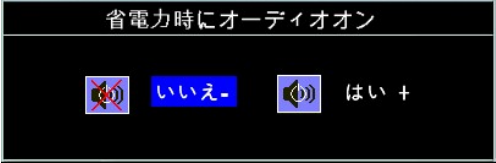
色設定

色設定は、色温度を調整します。

色設定には、次のオプションがあります。
色管理:このオプションの有効/無効を切り換えることができます。
色設定モード:グラフィックスモードとビデオモードを切り換えることができます。コンピュータがモニタに接続されている場合、グラフィックスを選択してください。DVD、ST
VCR がモニタに接続されている場合、ビデオを選択します。
色プリセット:異なる表示モードに対して、異なる色プリセットを選択することができます。

通常プリセット
マルチメディア プリセット
ゲーミングプリセット
赤プリセット
青プリセット
ユーザープリセット

グラフィックスモードでは、通常プリセット、マルチメディアプリセット、ゲーミングプリセット、赤プリセット、青プリセットまたはユーザープリセットを選択できます。

- 通常プリセットは、デフォルト (出荷時) の色設定を表示するために選択されます。この設定は、「sRGB」標準のデフォルト色スペースでもあります。
- マルチメディアプリセットを選択すると、メディアアプリケーションが表示されます。
- コンピュータでゲームをプレーするには、ゲーミングプリセットを選択します。
- 赤い色合いを付けるには赤プリセットを選択します。この色設定は、色強度アプリケーション用に使用されます (写真イメージ編集、マルチメディア、ムービーな
- 青い色合いを付けるには赤プリセットを選択します。この色設定はテキストベースのアプリケーション (スプレッドシート、プログラミング、テキストエディタなど) て
ます。
- ユーザープリセット:プラスおよびマイナスボタンを使用して、3 色 (R、G、B) のそれぞれを独立して 0～100 まで 1 桁ずつ増加または減少します。

		 注： マルチメディアやゲーミングプリセットなどの最適化された色設定は、色管理選択を無効にしているとき使用できません。
	シアタープリセット スポーツプリセット ネーチャープリセット	ビデオモードで、シアター、スポーツまたはネーチャープリセットを選択できます。 • ムービーを再生する場合、シアタープリセットを選択します。 • スポーツを表示する場合、スポーツプリセットを選択します。 • 一般的表示の場合、ネーチャープリセットを選択します。 • 初期設定に基づき、色合い/再度を調整することができます。
	色合い	⊖ ビデオイメージシェードの緑を強くします。 ⊕ ビデオイメージシェードの紫を強くします。 **注:**色合い調整は、DVI 入力を介してビデオを再生する場合のみ使用可能です。
	彩度	⊖ ビデオイメージのモノクロを強くします。 ⊕ ビデオイメージをよりカラフルにします。 **注:**彩度調整は、DVI 入力を介 再生する場合のみ使用可能です。

注： シアター、スポーツおよびネーチャープリセットなどの最適化された色設定は、色管理選択を無効にしているとき使用できません。

詳細設定

入力色 フォーマット

モニタが VGA または DVI ケーブルを使用して PC または DVD に接続されている場合、RGB オプションを選択します。モニタが YPbPr ケーブルによって DVD に接
る場合、YPbPr+ オプションを選択します。

ダイナミック コントラスト

ダイナミックコントラスト ? この機能により、ゲーミングプリセット、シアタープリセット、スポーツプリセットおよびネーチャープリセットを選択している場合コントラスト比が
が、上のモードでは輝度をユーザー調整に対して使用することはできません。

応答時間

応答時間 - この機能により、マルチメディアプリセット、ゲーミングプリセット、スポーツプリセットおよびシアタープリセットで応答時間が短くなります。

オン-応答時間の強化パターンを有効にします。

オフ-応答時間の強化パターンを無効にします。

OSD設定：

水平位置

垂直位置

OSD表示時間

OSDロック

場所、メニューが画面上にある時間数およびOSDの回転を含めて、OSDの設定を調整します。

OSDの位置

- OSDの水平位置を調整するには、
  - および **+**ボタンを使って、OSDを左右に移動させます。
- OSDの垂直位置を調整するには、**-** および **+**ボタンを使って、OSDを上下に移動させます。

OSD表示時間
OSDは、使用中は有効のままになります。ホールドタイムを調整し、最後にボタンを押した後にOSDが有効になっている時間を設定します。**-** および **+** ボタンを使って、5～60秒までで、5秒ずつスライダーを調整します。

OSDロック:
調整に対するユーザアクセスを管理します。［はい］(+)を選択した場合、ユーザ調整はできません。メニューボタン以外は、ボタンはすべて、ロックされます。

注意：OSDがロックされいてる場合、メニューボタンを押すと、OSDロックを選択した状態で、ユーザは直接OSD設定メニューに進みます。［いいえ］(-)を選択して、ロック解除して、ユーザは適用可能なすべての設定にアクセスできます。

		 注意: メニューボタンを15秒間押し続けて、OSDをロックまたはロック解除することもできます。
	言語	5 つの言語 (英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、または日本語) のどれかを選択して、OSD を表示します。 **注意:** 変更によって、OSDにだけ影響がでますが、コンピュータで実行されているソフトウェアには影響を与えません。
	オーディオ(オプション)	モニターが電源セーブ·モードの場合、オーディオをオンまたはオフにするように選択できます。 **はい** - オーディオ設定を有効にする **いいえ** - オーディオ設定を無効にする (デフォルト) **注意:** Dellサウンドバーがモニターに適切に接続されていない場合、オーディオメニューは利用できません。
	オーディオ:	OSDメニュー·オプションを工場出荷時事前設定値にリセットします。 **終了**ーOSDオプションをリセットせずに、工場出荷時リセットメニューを終了するように選択します。 **位置設定のみ**ー画像位置の設定を元の工場出荷時の設定に戻します。 **色設定のみ**ー赤、緑、および青設定をその工場出荷時設定値に戻します。出荷時設定は、次のようになっています。

色管理:オン
色設定モード:グラフィックス
色プリセット:通常プリセット

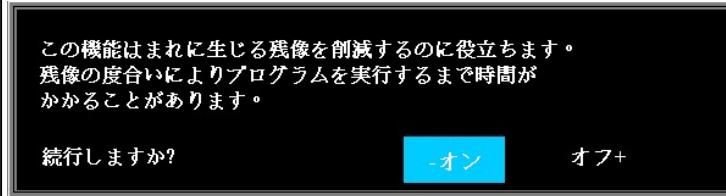
全ての 設定ー色、位置、明るさ、コントラストおよびOSDホールドタイムを含めたユーザ調整可能設定すべてを工場出荷時のデフォルト設定に戻します。OSDの言語は、変更されません。

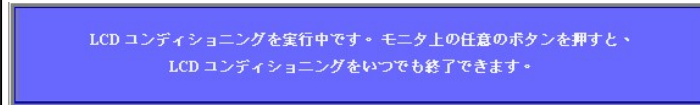
IRーこの機能で、小さな画像残留が補正できます。

LCD条件設定を有効にする: モニタで画像が固まった場合、LCD条件設定を選択し、残留画像を削除します。**LCD条件設定**機能の使用には、数時間が必要な場合があります。残留画像の程度がひどいものは焼付けとして知られ、LCD条件設定機能では、この焼付けを削除することができません。

注意: 残留画像に問題が発生した場合のみ、LCD条件設定を使います。

「Enable LCD Conditioning(LCDコンディショニングを使用する)」を選択すると、下の警告メッセージが表示されます。

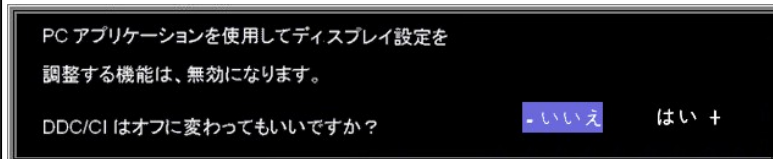
この機能はまれに生じる残像を削減するのに役立ちます。
残像の度合いによりプログラムを実行するまで時間がかかることがあります。
続行しますか?　-オン　オフ+

注意: モニタのボタンをどれか押すと、LCD条件設定が終了できます。

LCD コンディショニングを実行中です。 モニタ上の任意のボタンを押すと、
LCD コンディショニングをいつでも終了できます。

DDC/CI ー DDC/CIコントロール機能を有効にします。

DDC/CI (表示データチャンネル/コマンドインターフェース)で、PC上のソフトウェアアプリケーションを使って、モニターパラメータ (明るさ、配色等)を調整できます。

デフォルトは「Enable(使用する)」です。Disable(使用しない)を選択すると、この機能は使用できません。

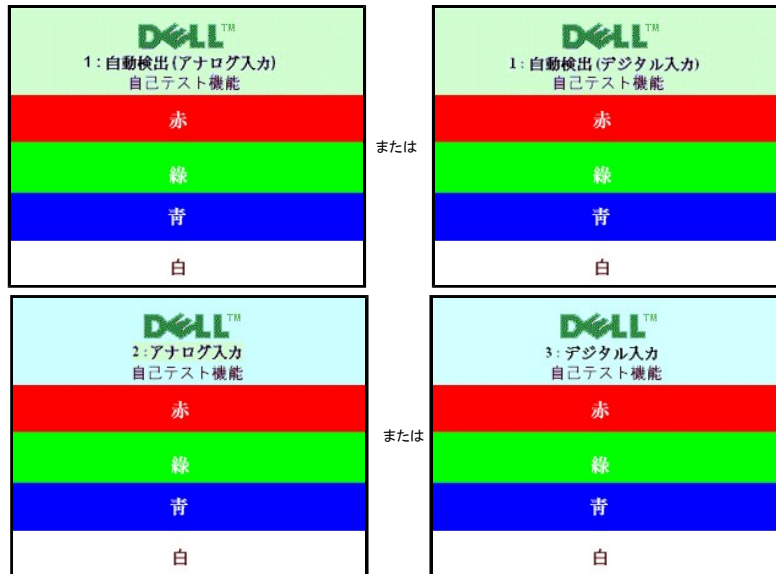
ユーザーがもっとも使いやすく、モニターの最適パフォーマンスを保つため、この機能は有効にしてください。

注:「無効」を選択すると、次のように警告メッセージが表示されます。「はい」を選択してDDC/CIを無効にすると、「工場出荷時状態にリセット」メニューに戻ります。警告メッセージは20秒でタイムアウトになります。

PC アプリケーションを使用してディスプレイ設定を
調整する機能は、無効になります。
DDC/CI はオフに変わってもいいですか？　- いいえ　はい +

OSD警告メッセージ

次の警告メッセージのうち1つが、スクリーンに表示され、モニターが同期していないことを表します。

これは、モニターがコンピュータから受信している信号と同期できないことを意味します。 モニターで使用するには、信号が高すぎるか、または低すぎます。このモニターで使用できる水平および垂直周波数幅については、仕様を参照してください。 推奨モードは、1680 x 1050 @ 60Hzです。

注意： モニターがビデオ信号を感知できない場合は、Dell自己テスト機能チェックダイアログが別に表示されます。

警告メッセージが何も表示されないことがありますが、スクリーンには何も表示されません。これは、モニターがコンピュータに同期していないことも表しています。

詳細は、問題を解決する を参照してください。

最適解像度を設定する

1. デスクトップを右クリックして、**プロパティ**を選択します。
2. **設定**タブを選択します。
3. 画面解像度を1680 x 1050に設定します。
4. **OK**をクリックします。

オプションとして1680 x 1050がない場合は、グラフィック･ドライバを更新する必要があります。コンピュータによっては、以下の手順のいずれかを完了してください。

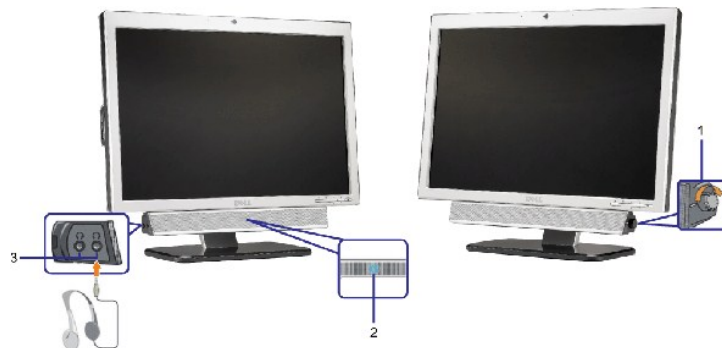
Dellデスクトップまたはポータブル･コンピュータをご使用の場合：

- **support.dell.com**に進み、サービス･タグを入力し、グラフィックス･カードに最新のドライバをダウンロードします。

Dell以外のコンピュータ（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合：

- コンピュータのサポートサイトに進み、最新のグラフィックス･ドライバをダウンロードします。
- グラフィックス･カード･ウェブサイトに進み、最新のグラフィックス･ドライバをダウンロードします。

Dellサウンドバー（オプション）を使う

Dellサウンドバーは Dellフラットパネルディスプレイの取り付けに適した2つのチャンネルシステムから成っています。?サウンドバーには全体システム･レベルを調整する回転音量とオン/オフ･コントロール、電源表示用の青のLEDおよびオーディオ･ヘッドセット･ジャック2つが搭載されています。

1. 電源/音量調節
2. 電源インジケータ
3. ヘッドフォン･コネクタ

モニターにサウンドバーを取り付ける

1. モニター背面から、2つのスロットをモニター背面の下部沿いにある2つのタブに合わせながら、サウンドバーを取り付けます。
2. サウンドバーが所定の位置にはめ込まれるまで、サウンドバーを左側にスライドさせます。
3. 電源コードをサウンドバーからモニター後部のコネクタに差し込みます。
4. サウンドバー背面から出る黄緑色のミニステレオプラグを、コンピュータのオーディオ出力ジャックに挿入します

注記： Dell サウンドバー以外のデバイスと一緒に使用しないでください。

注：サウンドバーパワーコネクタ +12V DC 出力は、オプションのサウンドバー専用です。

目次ページに戻る

[目次ページに戻る]

問題を解決する

Dell™ SP2008WFP フラットパネルモニタ

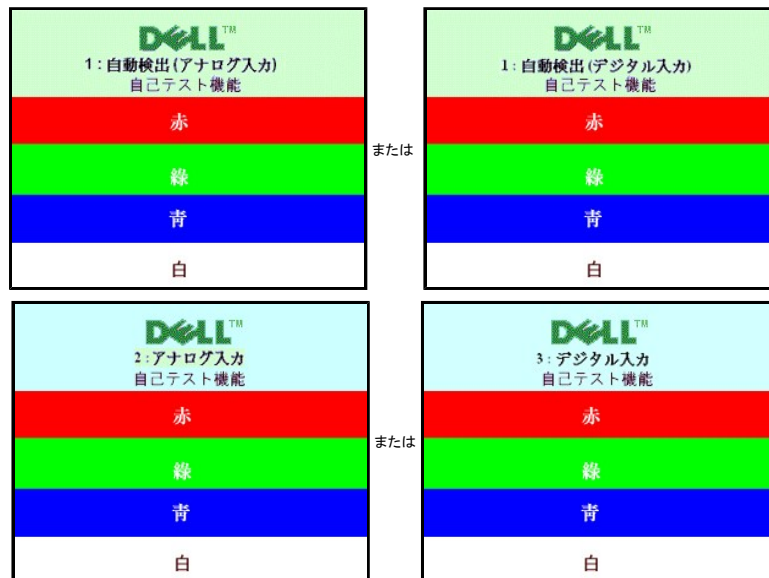
警告: このセクションで手続きをはじめる前に、安全指示書にしたがってください。

モニターのトラブルシューティング

自己テスト機能チェック(SIFC)

お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピュータが適切に接続されていて、モニタースクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください:

1. コンピュータとモニター両方の電源をオフにする。
2. コンピュータの後ろかビデオ・ケーブルを外す。自己テストが適切に運用できるようにするには、コンピュータの後ろからデジタル(白コネクタ)とアナログ(黒コネクタ)ケーブル両方を外します。
3. モニターの電源をオンにする。

注意: モニタがビデオ信号を感知できない場合、黒い背景に、フローティング[Dell自己診断機能チェック] ダイアログが表示されます。入力選択ボタンを使って、アナログ入力またはデジタル入力いずれか、試験する対象となる入力を選択します。ディスプレイ操作が正しい場合、ビデオカードからビデオケーブルを外すと、[Dell自己診断機能チェック]ダイアログが表示されます。

ビデオ·ケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。

4. モニターの電源をオフにして、ビデオ・ケーブルを再接続し、次にコンピュータとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニター·スクリーンに何も表示されない場合、ビデオ・コントローラおよびコンピュータ·システム、およびモニターが適切に機能していることをチェックしてください。

OSD警告メッセージ

次の警告メッセージのうち1つが、スクリーンに表示され、モニターが同期していないことを表します。

これは、モニターがコンピュータから受信している信号と同期できないことを意味します。信号が、モニターが使用するには高すぎるか、または低すぎます。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、モニター仕様 を参照してください。推奨モードは、1680 x 1050 @ 60Hzです。

警告メッセージが何も表示されないことがありますが、スクリーンには何も表示されません。これは、モニターがコンピュータに同期していないか、またはモニターが電源セーブ·モードになっているかを表しています。

全般問題

次の表には、考えられるモニターに関する全般的な問題情報が記載されています。

一般症状	問題の説明	解決方法
ビデオなし/電源LEDオフ	画像なし、モニターが無効	ビデオ·ケーブルの両端の接続統合をチェックしたら、モニターとコンピュータが、通電している電源コンセントに接続されていること、また電源ボタンを押していることを確認します
ビデオなし/電源LEDオフ	画像なし、または明るさがない	l モニター正面にある入力選択ボタンを押して、入力ソースが正しく選択されていることを確認します。 l 明るさとコントラスト·コントロールをアップします。 l モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。 l ビデオ·ケーブルの両端のピンが曲がったり、壊れていないかどうかをチェックします。 l コンピュータとモニターをリブートします。
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている。	l 自動調整ボタンを押します。 l OSDで、フェーズとクロック·コントロールを調整します。 l ビデオ拡張ケーブルを外します。 l モニター·リセットを行います。 l ビデオ解像度を下げるか、フォント·サイズを大きくします。
ビデオが揺れたり/ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	l 自動調整ボタンを押します。 l OSDで、フェーズとクロック·コントロールを調整します。 l モニター·リセットを行います。 l 環境係数をチェックします。 l 場所を変えて、他の部屋でテストします。
ピクセルが抜けている	LCDスクリーンに点が入る	l サイクル電源オン-オフ l これらは、永久にオフになっているピクセル、およびLCD技術で発生する自然な欠陥です。
明るさの問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	l モニター·リセットを行います。 l 自動調整ボタンを押します。 l 明るさとコントラスト·コントロールを調整します。
幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	l [位置設定のみ]でモニター·リセットを行います。 l 自動調整ボタンを押します。 l センタリング·コントロールを調整します。 l モニターが適切なビデオ·モードになっていることを確認します。
水平/垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	l モニター·リセットを行います。 l 自動調整ボタンを押します。 l OSDで、フェーズとクロック·コントロールを調整します。 l モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト·モードでも入るかどうかを確認します。 l ピンが曲がったり、壊れていないかどうかをチェックします。
同期問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	l モニター·リセットを行います。 l 自動調整ボタンを押します。 l OSDで、フェーズとクロック·コントロールを調整します。 l モニター自己テスト機能チェックを行い、スクランブル状態のスクリーンが自己テスト·モードでも入るかどうかを確認します。 l ピンが曲がったり、壊れていないかどうかをチェックします。 l [セーフティ·モード]でブートアップします。
LCDに傷が入っている	スクリーンに傷やスマッジが入っている	l モニターの電源をオフにして、スクリーンを清掃します。 l 清掃方法については、モニターの手入れを参照してください。
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	l トラブルシューティング手順を実行しないでください。 l モニターの交換が必要です。
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	l モニターが適切なビデオ·モードになっていることを確認します。 l コンピュータおよびフラットパネルへのビデオ·ケーブル接続がしっかりされていることを確認します。 l モニター·リセットを行います。 l モニター自己テスト機能チェックを行い、断続的問題が自己テスト·モードでも発生するかどうかを確認します。
画像の解像度(聖しか像から)	静止画像からのかすかな影画面にディスプレイが表示されます	l 電源管理機能を使用して、使用していないときは常にモニタの電源をオフにしてください.また、ダイナミックに変更するスクリーンセーバーを使用します長期間モニタに残ります. l OSDメニューでは、工場出荷時にリセットで、**[LCD条件設定を有効にする]**を選択します。このオプションを使用すると、画像が削除されるまで、数時間かかることがあります。 **注意:** 画像焼付けは、保証適用外です。
カメラ / MIC 問題	カメラ / マイクが作動しない	l USB アップストリーム用ケーブルが PC に接続されていることを確認します。 l CD に付属するカメラ / マイクドライバをインストールします。

製品別の問題

特定の症状	現況	解決方法
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない	・ [すべて設定]でモニター・リセットを行います。
正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない	OSDがスクリーン上に表示されない	・ モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差して、電源を入れます。

USB問題

特定の症状	現況	解決方法
USBインターフェースが作動していない	USB周辺機器が作動していない	・ モニターの電源がオンになっているかをチェックします。 ・ アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。 ・ USB周辺機器(ダウンストリーム·コネクタ)を再接続します。 ・ 電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。
高速USB2.0インターフェースが遅い	高速USB2.0周辺機器が遅いか、まったく作動しない	・ コンピュータがUSB2.0対応かどうかをチェックします。 ・ コンピュータのUSB2.0ソースを確認します。 ・ アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。 ・ USB周辺機器(ダウンストリーム·コネクタ)を再接続します。

サウンドバーに関するトラブルシューティング

一般症状	現況	解決方法
音が出ない	サウンドバーに電源が入らない-電源インジケータがオフになっている (内臓DC電源.例.SP2008WFP)	・ サウンドバー前面の電源インジケータ (青 LED) が点灯した場合、サウンドバーの電源/音量ノブを時計方向に中央の位置まで回します。 ・ サウンドバーからの電源ケーブルがモニターに差し込まれていることを確認します。 ・ モニターの電源が入っていることを確認します。 ・ モニターに電源が入っていない場合、モニターの一般問題について[モニターに関するトラブルシューティング](#)を参照してください。
音が出ない	サウンドバーの電源が入っている-電源インジケータがオンになっている。	・ オーディオ・ラインイン・ケーブルをコンピュータのオーディオ・アウト・ジャックに差し込みます。 ・ すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。 ・ コンピュータでオーディオ·コンテンツをいくつか再生します(例.オーディオCDまたはMP3)。 ・ サウンドバーの電源/音量ノブを高音量設定に対して時計回りに回します。 ・ オーディオ・ライン·プラグを清掃して、リセットします。 ・ 別のオーディオ·ソースを使って、サウンドバーをテストします(例.ポータブルCDプレイヤ)。
音が曲がっている	コンピュータのサウンドカードをオーディオ・ソースとして使います。	・ サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 ・ オーディオ・ラインイン·プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 ・ すべてのWindowsの音量コントロールを中間に設定します。 ・ オーディオ・アプリケーションの音量を下げます。 ・ サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。 ・ オーディオ・ライン·プラグを清掃して、リセットします。 ・ コンピュータのサウンドカードのトラブルーシューティング ・ 別のオーディオ·ソースを使って、サウンドバーをテストします(例.ポータブルCDプレイヤ)。
音が曲がっている	その他のオーディオ・ソースを使います。	・ サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 ・ オーディオ・ラインイン·プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 ・ オーディオ・ソースの音量を下げます。 ・ サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。 ・ オーディオ・ライン·プラグを清掃して、リセットします。
音出力がアンバランス	サウンドバーの片側からだけ音が出る	・ サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 ・ オーディオ・ラインイン·プラグがサウンドカードまたはオーディオ·ソースのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 ・ すべてのWindowsオーディオ・バランス・コントロール(L-R)を中間に設定します。 ・ オーディオ・ライン·プラグを清掃して、リセットします。 ・ コンピュータのサウンドカードのトラブルーシューティング ・ 別のオーディオ·ソースを使って、サウンドバーをテストします(例.ポータブルCDプレイヤ)。
低音量	音量が低すぎる	・ サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 ・ サウンドバーの電源/音量ノブを最大音量設定に対して時計回りに回します。 ・ すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。 ・ オーディオ・アプリケーションの音量を上げます。 ・ 別のオーディオ·ソースを使って、サウンドバーをテストします(例.ポータブルCDプレイヤ)。

目次ページに戻る

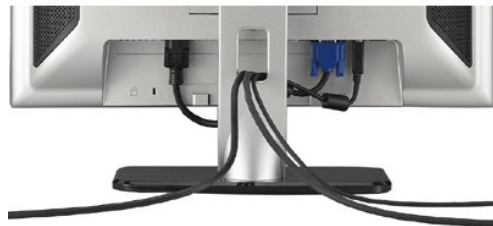
モニタスタンドの使用

Dell™ SP2008WFP フラットパネルモニタ

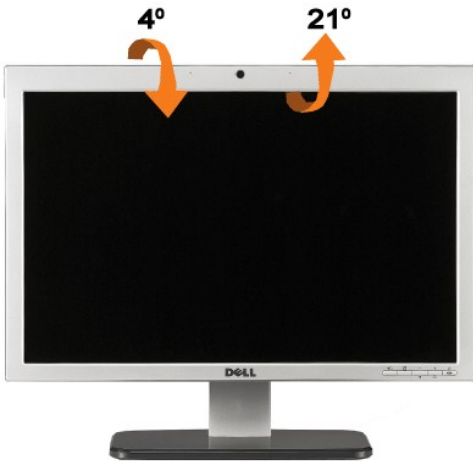
スタンドを取り付ける

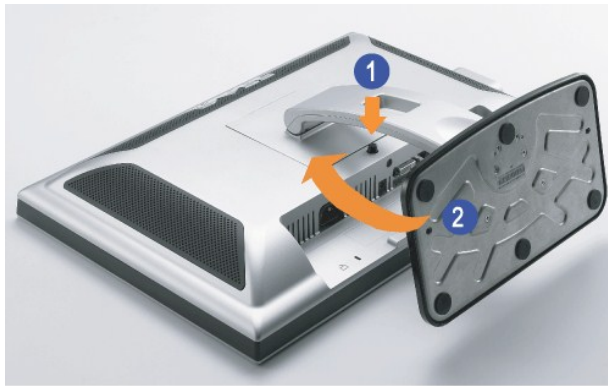
注意：出荷時、スタンドはモニタに装着されていません。

1. スタンドの2つのタブにモニターの溝を固定します。
2. スタンドにしっかりとロック、固定されるまで、モニターを下ろします。

ケーブルを調整する

モニターおよびコンピュータに必要なケーブルすべてを取り付けた後、(ケーブルの取り付けについては、モニターを接続する を参照してください) 上記のとおり、ケーブル・ホールダを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。

チルトの使用

付属の台座を使えば、モニタを最適な視野角に設置できます。

注意：出荷時、スタンドはモニタに装着されていません。

スタンドを取り外す

注意： モニタパネルを柔らかい布やクッションの上に置いた後、以下の手順に従ってスタンドを取り外してください。

1. スタンドリリースボタンを押します。
2. スタンドのリリースボタンを押しながら、モニタからスタンドを持ち上げます。

目次ページに戻る